

1 1 福祉施設入所者の地域生活への移行

成果目標	令和元年度末の入所者102人について、次のとおり令和5年度末までの目標を設定					
	目標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標
	目標1	地域生活移行者数（積算）	1人	2人		7人
	目標2	入所者減少数	7人	2人		2人
	【目標の達成方法】 通所サービスやグループホームなどのフォーマルなサービスと基幹相談支援センターで行う相談支援などのインフォーマルなサービスを提供することで、地域移行の促進を目指す。					

活動指標	指標		R3	R4	R5
	指標1	生活介護利用者数	見込 実績	200 200	205 203
指標2	自立訓練利用者数	見込 実績	5 3	6 2	7
指標3	就労移行支援利用者数	見込 実績	9 9	12 14	15
指標4	就労継続支援A型・B型利用者数	見込 実績	169 188	184 198	199
指標5	就労定着支援利用者数	見込 実績	2 3	3 2	4
指標6	短期入所利用日数	見込 実績	20 7	23 7	26
指標7	共同生活援助利用者数	見込 実績	99 114	104 119	109
指標8	地域移行支援・地域定着支援利用者数	見込 実績	2 2	3 1	4

※R4実績値は、令和4年10月時点のもの

昨年度評価結果	A	
自己評価	B	評価根拠 前年度から数値を下げている項目があり、成果目標、活動指標ともに目標を達成しているものが半分程度となっており、目標達成には至らない見込みである。
委員会評価	B	評価根拠 自己評価のとおりに

2 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

成果目標	北十勝3町で構成する地域生活支援拠点の機能充実に向け、次のとおり令和5年度末までの目標を設定					
	目標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標
	目標1	運用状況の検証・検討回数	年1回	年1回		年1回
	【目標の達成方法】 北十勝生活支援ネットワーク会議相談支援部会において、地域生活支援拠点の運用状況の検証や今後の取組方針などを協議することにより、機能の充実を図る。					

活動指標	指標			R3	R4	R5
	指標1	相談支援部会における協議回数	見込	年1回	年1回	年1回
			実績	年1回	年1回	

※R4実績値は、令和4年11月時点のもの

昨年度評価結果	A
---------	---

自己評価	A	評価根拠	北十勝相談支援部会において地域生活支援拠点の運用状況の検証や今後の取組方針などの協議を行っており、活動指標・成果目標ともに達成できている。
	委員会評価	A	評価根拠

3 福祉施設から一般就労への移行

成果目標	福祉施設から一般就労への移行について、次のとおり令和5年度末までの目標を設定					
	目標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標
	目標1	年間一般就労移行者数	0人	4人		6人
	目標2	就労移行支援事業所一般就労への移行	0人	1人		3人
	目標3	就労継続支援A型事業所の一般就労への移行	0人	1人		1人
	目標4	就労継続支援B型事業所の一般就労への移行	0人	2人		2人
【目標の達成方法】 就労系サービスの利用によるほか、就業・生活支援センターと連携して職場体験事業を実施し、職場経験を積むことで、就労意欲の向上や課題を明らかにし、一般就労への移行を目指す。						

活動指標	指標		R3	R4	R5
	指標1	就労移行支援利用者数	見込 実績	9 9	12 14
指標2	就労継続支援A型利用者数	見込 実績	29 39	34 43	39
指標3	就労継続支援B型利用者数	見込 実績	140 149	150 155	160
指標4	就労定着支援利用者数	見込 実績	2 3	3 2	4
指標5	職場体験事業利用者数	見込 実績	10 4	10 0	10

※R4実績値は、令和4年10月時点のもの

昨年度評価結果	B
---------	---

自己評価	B	評価根拠	多くの活動指標は実績が見込みを上回っているが、成果目標は今年度の残りの期間で人数の上積みは見込めるものの、目標達成には至らない見込みである。
委員会評価	B	評価根拠	自己評価のとおり

4 4 障がい児支援の提供体制の整備

成果目標	障がい児支援の提供体制の整備促進のため、次のとおり令和5年度末までの目標を設定					
	目標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標
	目標1	関係機関等の連携を図るための協議の場の開催回数	年1回	年1回		年1回
	【目標の達成方法】 障がい者総合支援協議会の専門部会において、障がい児に対する相談支援体制の構築に向けた検討などを協議することにより、体制の整備促進を図る。					

活動指標	指標			R3	R4	R5
	指標1	障がい者総合支援協議会の専門部会の開催回数	見込実績	年1回 年1回	年1回 年1回	年1回

※R4実績値は、令和5年1月時点のもの

昨年度評価結果	B
---------	---

自己評価	A	評価根拠	障がい者総合支援協議会の専門部会として、子ども支援部会と医療的ケア支援部会を設置し、協議を行っていることから、成果目標・活動指標ともに達成できている。
	委員会評価	A	評価根拠

5 職場体験事業の利用促進

成果目標	一般就労を目指す障がい者の就労促進のため、職場体験事業の利用について、次のとおり令和5年度末までの目標を設定					
	目標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標
	目標1	職場体験事業利用者数	4人	0人		10人
	【目標の達成方法】 募集案内する事業所への働きかけや職場体験の受入先となる企業の開拓により、事業への関心を高めることで、利用者数の増を図る。					

活動指標	指標			R3	R4	R5
	指標1	職場体験事業利用者数	見込	10	10	10
			実績	4	0	

※R4実績値は、令和4年11月時点のもの

昨年度評価結果	C
---------	---

自己評価	C	評価根拠	活動指標・成果目標ともに現時点で目標を達成できておらず、今年度の残りの期間で人数の上積みは見込めるものの、目標達成には至らない見込みである。
委員会評価	C	評価根拠	自己評価のとおり